

1. 科目名 (単位数)	特別支援教育実習指導 (1 単位)		3. 科目番号	SSMP3387 SSMP3487 SNMP3487 SCMP3487 SBMP3487
2. 授業担当教員	上田 征三			
4. 授業形態	講義・演習 講義による基礎理論の習得に基づき、グループ討議等のアクティブラーニングにより、履修者同士の実践的な学び合いを重視します。学習指導案の作成等の講義、指導場面別の指導内容、事例研究等について、演習・グループ討議等を行う。	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	「障害児教育論」の単位を取得していることが望ましい。			
7. 講義概要	本講座では、特別支援学校での教育実習を想定した実践的な内容で構成する。 1. 教師のあり方 2. 教育実習の準備・教材研究 3. 特別支援教育の児童・生徒の実態 4. 特別支援教育の現状と課題 5. 障害児の理解と接し方 6. 障害児の観察の視点 7. 人権教育について 8. 教育機器と教材の活用			
8. 学習目標	以下について学習し、教育実習に臨める力、指導実践力を高める。 ①教育実習に対する理解を深め、教育実習生としての態度や心構えをもつ。 ②教育実習での児童、生徒の実態把握ができるようになる。 ③学習指導案の作成と教材作り等について創意工夫し、臨めるようになる。 ④研究授業に基づいた、授業改善を通し、よりよい授業を考えられるようになる。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 授業内容に沿った小テストを約3回実施する。 2. マイクロ・ティーチング用の指導案提出 (グループ) とマイクロ・ティーチング発表 (グループ) する。 3. 「自立活動」指導案、教材研究を提出する。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 ①上田征三・高橋実・今中博章編著『基礎から学ぶ特別支援教育の授業づくりと生活の指導』ミネルヴァ書房、2017。 ②文部科学省『特別支援学校幼稚部教育要領 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領』、2018。 ③文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編 (小学部・中学部)』(開隆堂出版)、2018 ④東京福祉大学編『教育実習の手引き』 【参考書】 杉野学・上田征三編著『初めて学ぶ知的障害児の理解と指導』大学図書出版、2020。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 特別支援教育に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 教育実習に臨める力、指導実践力がついたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。] 1 授業への積極的参加 (総合点の 30%) 2 日常の学習状況 (総合点の 40%) 3 課題レポート (総合点の 30%)			
12. 受講生へのメッセージ	1. 授業中に携帯、私語、居眠り、飲食などをしないこと。 2. 教室を散らかしたり机を汚したりしないこと。 3. マナーを守り、大学生としての学習体制を確立すること。			
13. オフィスアワー	授業以外の時間 (予約をお願いすることもある)			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	特別支援教育や児童・生徒の実態、特別支援教育の現状	事前学習	教科書 1-3 章の熟読と専門用語や重要語句を理解しノートに要約する。	
		事後学習	教科書 1-3 章復習しノートに整理する。	
第 2 回	特別支援教育の専門性と教育課程	事前学習	教科書 4-6 章の熟読と専門用語や重要語句を理解しノートに要約する。「学習指導要領解説」の熟読と重点項目を理解しノートに要約する。	
		事後学習	教科書 4-6 章、「学習指導要領解説」の重点項目をノートに整理する。	
第 3 回	領域「自立活動」と指導計画	事前学習	「学習指導要領解説」の熟読と重点項目を理解しノートに要約する。	
		事後学習	「学習指導要領解説」の重点項目のまとめをノートに整理する。	
第 4 回	障害児の理解と接し方、障害児の観察の視点	事前学習	教科書 7-18 章の熟読と専門用語や重要語句を理解しノートに要約する。小テスト①の準備をする。	
		事後学習	教科書 7-18 章の熟読と専門用語や重要語句を理解しノートに整理する。	
第 5 回	特別支援学校 (実習先) の理解—実習日誌の記入に必要な「学校の現況」「オリエンテーションの内容」「日課」などの理解特別支援教育の児童生徒の実態・現状 ※実習予定先の情報を整理しておくこと	事前学習	実習予定先の現況などをノートにまとめる。	
		事後学習	実習予定先の整理をし『特別支援教育実習指導用ノート』(下書き)に清書する。	

第6回	特別支援学校の現場の授業研究(ビデオによる観察)ー教師や学校のあり方、実習日誌の記入演習障害児の理解と接し方・観察の視点	事前学習	マイクロ・ティーチングの準備をする(単元設定、児童生徒の設定、教材準備など指導案作成を含む)。
		事後学習	マイクロ・ティーチングの準備をする(指導案作成を含む)。小テスト①の復習をしノートにまとめる。
第7回	特別支援学校の現場の授業研究(ビデオによる観察)ー児童生徒の理解、実習日誌の記入演習障害児の理解と接し方・観察の視点	事前学習	マイクロ・ティーチングの準備をする(単元設定、児童生徒の設定、教材準備など指導案作成を含む)。
		事後学習	マイクロ・ティーチングの準備をする(指導案作成を含む)。
第8回	障害に応じた授業、年齢に応じた授業、「自ら学ぶ」授業ー教育活動の構造化 ①教室の構造化(ビデオによる観察)	事前学習	マイクロ・ティーチングの準備をする(単元設定、児童生徒の設定、教材準備など指導案作成を含む)。
		事後学習	マイクロ・ティーチングの準備をする(指導案作成を含む) 小テスト②の準備をする。
第9回	障害に応じた授業、年齢に応じた授業、「自ら学ぶ」授業ー教育活動の構造化 ②スケジュールの構造化(ビデオによる観察)	事前学習	マイクロ・ティーチングの準備をする(単元設定、児童生徒の設定、教材準備など指導案作成を含む)。
		事後学習	マイクロ・ティーチングの準備をする(指導案作成を含む)。
第10回	障害に応じた授業、年齢に応じた授業、「自ら学ぶ」授業ー教育活動の構造化 ③教材の構造化(ビデオによる観察)	事前学習	マイクロ・ティーチングの準備をする(単元設定、児童生徒の設定、教材準備など指導案作成を含む)。
		事後学習	マイクロ・ティーチングの準備をする(指導案作成完成) 小テスト②の復習をしノートにまとめる。
第11回	障害に応じた授業、年齢に応じた授業、「自ら学ぶ」授業ー教育活動の構造化 ④授業内容の構造化(ビデオによる観察)	事前学習	マイクロ・ティーチングの準備をする(単元設定、児童生徒の設定、教材準備など指導案作成を含む)。
		事後学習	マイクロ・ティーチングの準備をする(リハーサル)。
第12回	マイクロ・ティーチング(模擬授業)(1)	事前学習	マイクロ・ティーチングの振り返りとそれをレポートにまとめる。
		事後学習	マイクロ・ティーチングの振り返りとそれをレポートにまとめる。
第13回	マイクロ・ティーチング(模擬授業)(2)	事前学習	マイクロ・ティーチングの振り返りとそれをレポートにまとめる。
		事後学習	マイクロ・ティーチングの振り返りとそれをレポートにまとめる。 小テスト③の準備をする。
第14回	模擬授業発表に関する自己評価と他者評価による振り返りー単元は適切か、授業者の活動は適切か、適切な構造化はなされたか	事前学習	マイクロ・ティーチングの振り返りとそれをレポートにまとめる。
		事後学習	マイクロ・ティーチングの振り返りとレポートを作成する。
第15回	人権教育について、教育実習までの準備、教育実習における今後の問題点とまとめー現場の教師からの声(資料) ※特別支援学校の公開授業等に各自参加計画を立てて実施	事前学習	マイクロ・ティーチングの振り返りとレポートを作成し提出する。小テスト③の復習しノートにまとめる。
		事後学習	全体のまとめをノートに整理する。小テスト③の復習しノートにまとめる。教材研究のレポートを作成し提出する。

*2019年度以降入学生より、教育実習にかかわる単位取得は、教職課程再課程認定に伴い「教育実習指導(事前指導)」、「教育実習(4週)」および「教育実習事後指導(1時間)」におけるすべての履修によって単位取得が認定されることとなった。